

日本の自治体で初めての採用 岐阜県の中国人観光客向けインバウンド促進ツールに メディアシークの「アイコニット」を採用

株式会社メディアシーク(本社:東京都港区、代表取締役:西尾直紀)が提供するスマートフォン向け無料バーコード読取りアプリ「バーコードリーダー/アイコニット™」が、岐阜県の中国向けインバウンド促進のためのプロモーションツールとして採用されました。2013年8月22日よりサービスを開始します。「アイコニット」が日本の自治体によるプロモーションツールとして採用されるのは今回が初めてで、中国向けインバウンド促進ツールとしての採用も初となります。

「アイコニット」は中国語に対応、中国版 Twitter「新浪微博(SINA WEIBO)」において公式アカウントを取得し、現在フォロワーは18万人強(8月20日現在187,418人)となっています。昨今中国においてQRコードの利用が急激に広まってきていることを受け、中国への情報発信活動を精力的に行っている岐阜県に「アイコニット」を評価いただき、今回採用して頂ける運びとなりました。

岐阜県は「アイコニット」を活用して、中国向け情報発信手段を集約する情報プラットフォームを「アイコニット」上に構築、運営します。これにより、既存の岐阜県の中国向け情報発信ツール(公式WEBサイト、公式微博、公式ブログ、公式微信)を、スマホ上で一元的に見せることができるようになり、更に、「お知らせ」機能を使って、岐阜県の最新情報を個別に提供することができるようになります。

《岐阜県導入イメージ》



■岐阜県担当者様のコメント

岐阜県では、多様化する中国大陸の生活者のライフスタイルとスマートフォンの普及状況に対応し、さらなる岐阜県の知名度向上を図るため、QRコードの活用において先進的な機能を有する「アイコニット」を採用しました。アイコニットを活用し、中国からの一層の誘客促進につなげていきたいと思っております。



《 岐阜県アイコン 提供コンテンツ(予定) 》

- ・お知らせ(適宜発信)
- ・岐阜県の景色(画像・随時更新)
- ・岐阜県公式中国語 WEB サイト
- ・岐阜県公式微博
- ・岐阜県公式ブログ
- ・岐阜県公式微信



岐阜県アイコン QR コード

《 岐阜県の外国人観光客誘致の取り組み 》

岐阜県では、「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」として、海外から岐阜県を訪れる訪日旅行の誘客に取り組んでいます。中でも中国人の海外旅行者は2012年で8000万人を突破しており、訪日旅行者も中国の経済発展に伴い増加が見込まれるため、重要な市場と位置づけております。

これまで、中国向け誘客施策として、イベント、旅行メディア等の招へい、プレゼントキャンペーンなどの施策と並行して、中国本土にサーバーを置いた中国語版岐阜県観光 WEB サイトや、中国語版ツイッター「微(うえい)博(ぼー)」等の運用を通して恒常的情報発信をしてきましたが、今回、一元的な情報発信と、より興味のあるファンの囲い込みを目的として、日本の自治体として初めて「アイコンitt」を導入します。

《 「バーコードリーダー/アイコンitt™」について 》

「バーコードリーダー/アイコンitt™」は、メディアシークが提供するスマートフォン向け無料バーコード読取りアプリケーションです。iOS、Android あわせ累計 600 万ダウンロードを超え、「App Store Best of 2012」では、トップセールス 28 位(無料アプリ)にランクインする定番アプリです。QR名刺「スマートフライヤー」の読取りに加え、英語/中国語/韓国語/タイ語/ベトナム語/ドイツ語/スペイン語に対応し、世界各国でユーザーを拡大しています。

スマートフォン向けO2Oプラットフォーム「AppCMS / ICONIT アイコンマネージャー」を「アイコンitt」と組み合わせることで、ユーザーがバーコードやQRコードを読み取った際にスマートフォン画面にどのような情報を提供するかアイコン提供者が自由に設定でき、様々なプロモーションに活用することが可能です。

【URL】 <http://www.iconit.jp/>

- 「バーコードリーダー/アイコンitt」およびメディアシークロゴは株式会社メディアシークの登録商標です。
- その他記載された会社名および商品名/サービス名は各社の商標または登録商標です。
- 本プレスリリース記載の情報は発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



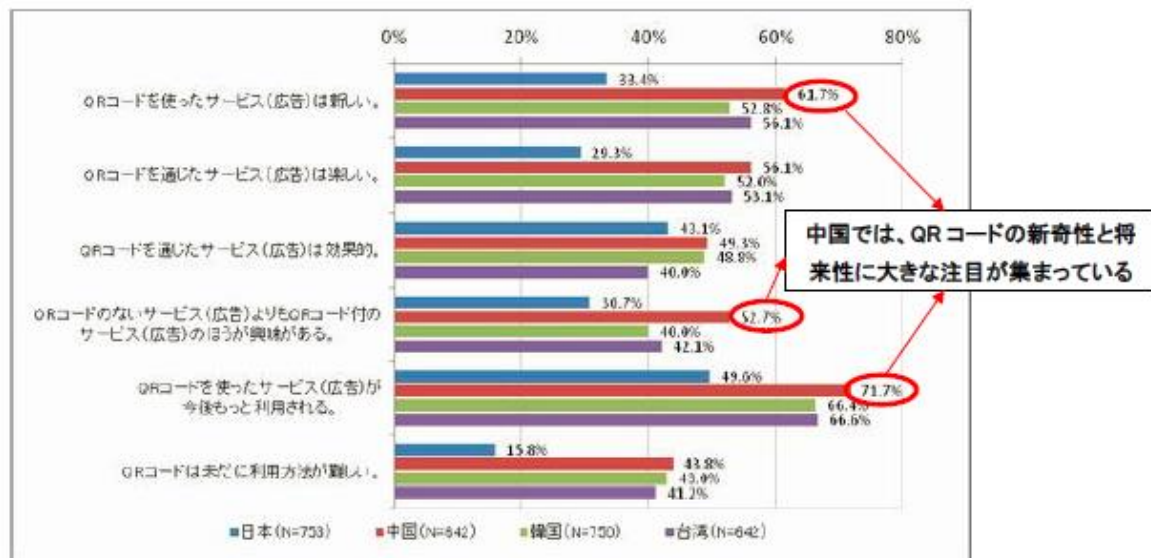
■近年の中国におけるQRコードの急速な浸透

日本で生まれたQRコードは、近年のスマートフォンの普及により、中国においても急速に浸透しています。中国のスマートフォンユーザーは現在約4億人※にも上るとみられており、スマートフォンユーザーに向けてQRコード経由の顧客獲得プロモーションを展開する企業や店舗も爆発的に増えています。中国人の「新しいモノ好き」、「安さ追究」という気質とQRコードの特性がマッチし、QRコードの中国での市民権はより強固なものとなり、今後も情報コミュニケーションの様々な場面で活用されていくことが予想されます。

※リサーチ会社「iiMedia Research」の調査レポートより

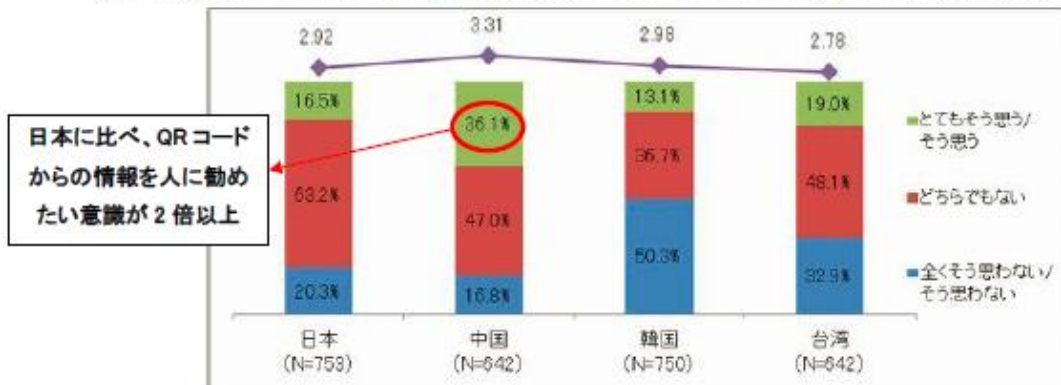
2012年に東アジア主要4カ国・地域を対象に実施した「QRコードに関する調査」(GMOジャパンマーケットインテリジェンス株式会社調べ)では、中国でQRコードを使ったサービスや広告に大きな注目が集まっており、今後への期待や関心の強さがわかりました(図1)。また、「QRコードをスキャンした後の行動」を問う質問では、「QRコードでスキャンした製品を知人に勧めたい」と思う人の割合は、中国人が日本人の2倍以上という結果が出ています(図2)。

(図1)



中国では、QRコードの新奇性と将来性に大きな注目が集まっている

(図2) 質問: QRコード(二次元コード)の利用後の行動として「QRコードでスキャンした製品を知人に勧めたい」と思いますか?



日本に比べ、QRコードからの情報を人に勧めたい意識が2倍以上